

※2021年5月2日～2023年5月1日の期間

教育研究業績書

氏名	まきた なおこ 牧田 直子	職名	教授（博士（学術））
専門分野	生体高分子化学、生物物理化学、プランクトン分類学		
所属学会	日本化学会、日本珪藻学会、日本蘇苔類学会		
担当科目	キャリア基礎I、キャリア基礎II、キャリア基礎III、化学概論、環境化学、環境化学実験、環境基礎実験、基礎演習 a、専門演習 a、専門演習 b、専門演習 c、専門演習 d		
<b>I 教育活動</b>			
	教育実践上の主な業績	概	要
1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）	<p>2021年度および2022年度は「キャリア基礎I」、「キャリア基礎II」、「キャリア基礎III」、「化学概論」、「環境化学」、「環境化学実験」、「基礎演習 a」、「専門演習 a」、「専門演習 b」、「専門演習 c」、「専門演習 d」の11科目を担当した。また、2021年度と2022年度は「環境情報学概論 I」で1回および「環境情報学概論 II」で2回、2023年度は「環境情報学概論 I」で3回、授業を分担した。</p> <p>「化学概論」、「環境化学」、「環境化学実験」の化学系3科目は、講義計画に教科書や自作テキストの該当ページを記して配布し、学生が予習を進めやすくした。特に基礎科目である「化学概論」では、授業内容をまとめた書き込み式のノート（プリント）を用意し、ノートを取りやすくする配慮と、学習のポイントをまとめた。授業内では演習の時間を何度か取り、授業を聞くだけでなく、考える時間を交えることで授業のメリハリを作った。</p> <p>2023年から新規開講した「環境基礎実験」では、実験実習に不慣れな学生を対象としているため、時間にゆとりを持たせ、学生同士でコミュニケーションを取りながら共同で作業しながら学習できるよう、工夫している。</p> <p>「専門演習 a」、「専門演習 b」、「専門演習 c」、「専門演習 d」は実験実習中心の演習科目であり、安全面には特に注意して、学生同士で協力して取り組むことで、協調性や自主性、積極性の向上を促した。</p>		
2. 作成した教科書、教材、参考書	<p>環境分析実験、「環境基礎実験」「基礎演習 a」については、自作の実習テキストを作成し、配布している。</p> <p>2022年に「環境情報学概論 I」で担当する「竹林整備実習」の実習教材として「四日市大学竹林整備ハンドブック」の第2版を発行した。</p>		
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	なし		
4. その他教育活動上特記すべき事項	<p>教職員対象： 2022年8月 「プランクトンの採集と観察」講師（四日市市教育委員会夏期研修講座）</p> <p>高校生対象： 2021年7月 「プランクトンの採集と水質分析」講師（愛知県立海翔高等学校） 2022年3月 岐阜県立可児高等学校・研究活動相談</p> <p>小中学生対象： 三重大学による JST 事業・三重ジュニアドクター育成塾 2021年5月 エリア E 第3回「水田でのプランクトンの採集と観察」講師 2022年6月 エリア E 第2回「水田でのプランクトンの採集と観察」講師</p>		

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著のみ記入)	該当頁数
論文					
愛知県の水田から得られた オナガミジンコ属の一新種 について	共著	2021年9月	四日市大学学会、四日市大学論 集 第34巻第1号	◎小鹿亨・牧田直子・ 田中正明	87-100頁
三ツ又池(愛知県弥富市)の プランクトン相について	共著	2023年3月	四日市大学学会、四日市大学論 集 第35巻第2号	◎牧田直子・田中正明	215-225頁
III 社会における主な活動					
学会活動					
2016年4月～現在に至る	日本化学会東海支部化学教育協議会委員(日本化学会)				
役員・委員等					
2017年7月～現在に至る	桑名市環境審議会委員(桑名市)				